

人権コラム 心、豊かに

◆ 「心の平和」を守るために

5月16日は「平和に共存する国際デー」です。この日は、平和・連帯・調和の持続可能な世界を築くために、違いと多様性の中で団結して生き、共に行動したいという思いを支持することを目的に制定されました。

「平和」と聞くと、とてもスケールの大きなもののように感じてしまうかもしれませんが、平和には「戦争や紛争がなく、世の中がおだやかな状態にあること」のほかにも、「心配やもめごとがなく、おだやかなこと」という意味が含まれています。

このように、平和とは私たち一人ひとりに関係する身近なものです。しかし、現代社会にはその平和を乱すような人権問題が多く残っています。インターネット上での偏見や差別もその一つです。私たちの社会は、性別、年齢、身体的特徴、国籍、宗教、信条、所属など様々な要素がそれぞれ異なる人たちで構成されています。その要素のどれか一つでもマイナスなイメージが広がってしまうと、「心配やもめごとがなく、おだやか」な社会生活を送ることは難しくなってしまいます。

SNSや動画投稿サイトを使えば、誰でも簡単に、世界中に向けて発信することができるインターネットの世界では、特定の要素を持つ人に対して悪意を持って発信された情報や、悪気はなくても無意識の偏見をもとに発信してしまっている情報が多く存在します。また、そのような情報は、意図的に見ようと思っていない人も目にしてしまうことがあり、場合によっては、その情報を見た人が偏見を持ってしまうかもしれません。

こうした偏見や差別を広げないために、日頃から、目にする情報を鵜呑みにせず、一度自分で考えてみたり、情報を発信する際に、偏見が混じっていないか確認したりすることが大切です。一人ひとりの“心の平和”を守ることが、「平和に共存する」社会の構築につながるのではないのでしょうか。